

令和8年第2回宝塚市議会（定例会）一般質問一覧表

令和8年6月16日（火）～ 6月19日（金）

（場所：宝塚市議事堂）

発言順位	発言者	質問方式	発言時間	予 定 日 時	
1	森 賀 宣 代	一問一答式	60分	6/16 (火) 6人	9:30～10:30
2	持 田 ち え	一問一答式	60分		10:30～11:30
3	末 永 やよい	一問一答式	60分		12:45～13:45
4	中山 ゆうすけ	一問一答式	60分		13:45～14:45
5	北 野 聡 子	一問一答式	60分		15:00～16:00
6	中 野 正	一問一答式	60分		16:00～17:00
7	村 松 あんな	一問一答式	60分	6/17 (水) 5人	10:30～11:30
9	梶 川 みさお	一問一答式	60分		12:45～13:45
10	坂 本 篤 史	一問一答式	60分		13:45～14:45
11	桑 原 健三郎	一問一答式	60分		15:00～16:00
12	浅 谷 亜 紀	一問一答式	50分		16:00～16:50
13	藤 岡 和 枝	一問一答式	60分	6/18 (木) 6人	9:30～10:30
14	寺 本 早 苗	一問一答式	60分		10:30～11:30
15	大 島 千都世	一問一答式	60分		12:45～13:45
16	泉 友 紀	一問一答式	60分		13:45～14:45
17	伊 庭 聡	一問一答式	60分		15:00～16:00
18	三 宅 浩 二	一問一答式	60分		16:00～17:00
19	お だ たか子	一問一答式	60分	6/19 (金) 5人	9:30～10:30
20	川 口 じゅん	一問一答式	50分		10:30～11:20
21	大 島 淡紅子	一問一答式	60分		12:45～13:45
22	田 中 こ う	一問一答式	60分		13:45～14:45
23	北 山 照 昭	一問一答式	75分		15:00～16:15

※各質問の予定日時につきましては、議事の進行状況により前後することがあります。
 ※発言順位「8」は発言通告の取下げにより欠番。

(注) 表中、議員名下の () は質問形式

順位	議員名	件名
1	森賀 宣代 (一問一答式)	<p>1 たからっ子ノートの活用と関係機関との連携について</p> <p>(1) たからっ子ノート活用実績と成果について</p> <p>ア 配付のタイミングは</p> <p>イ 配付状況は</p> <p>ウ 活用方法と活用による成果は</p> <p>(2) 関係機関との連携について</p> <p>ア たからっ子ノートを連携している関係機関は</p> <p>イ 十分に機能していることをどのように把握しているか</p> <p>2 放課後子ども教室推進事業の実施体制と今後の在り方について</p> <p>(1) 放課後子ども教室推進事業の目的と実施状況について</p> <p>ア 宝塚市における放課後子ども教室の事業目的は何か</p> <p>イ 放課後子ども教室推進事業における市内実施校の形態の内訳は</p> <p>ウ 年間実施回数と利用状況は</p> <p>エ 宝塚市として、放課後の子どもの居場所づくりと位置づける妥当な実施回数の見解は</p> <p>(2) 実行委員会方式の実態と課題について</p> <p>ア 宝塚市が放課後子ども教室推進事業を実行委員会方式とした理由は</p> <p>イ 実行委員会の担い手は地域やPTA等の保護者であるが、持続可能であると認識しているか</p> <p>(3) 委託状況について</p> <p>ア 市から実行委員会に委託され、実行委員会からNPO法人等に再委託されている実態はあるか</p> <p>イ 実質的にNPO法人等に事業が委ねられている場合、責任の所在は</p> <p>(4) 見守りスタッフへの謝礼金と寄附の取扱いについて</p> <p>ア 見守りスタッフとしての謝礼金はスタッフ個人のものか、団体への活動費か、市の見解は</p> <p>イ 見守りスタッフへの謝礼金を事業運営宛てに寄附を求める文書があると聞くが、その実態を市は把握しているか</p>
2	持田 ちえ (一問一答式)	<p>1 福祉の定義とこれからの行政の役割について</p> <p>(1) 福祉の定義について</p> <p>ア 福祉とは</p> <p>イ 地域福祉計画における位置づけは</p> <p>ウ たからづかモデルにおける位置づけは</p> <p>エ 売布東の町地域における福祉の拠点づくりにおける位置づけは</p> <p>(2) これからの行政の役割について</p> <p>ア 市民ニーズの捉え方</p>
3	末永 やよい	1 西谷地域におけるIB教育導入について

	(一問一答式)	<p>(1) IB教育導入の目的と期待する効果について</p> <p>(2) 教育現場への影響と受入体制について</p> <p>(3) 導入に係る費用の見込みと持続可能な運営について</p> <p>2 西谷地域における「二地域居住等促進」を活用した関係人口創出について</p> <p>(1) 現在の関係人口創出に向けた地域の取組について</p> <p>(2) 現在の空き家活用の取組について</p> <p>(3) 二地域居住の可能性について</p> <p>(4) 今後の取組の方向性について</p> <p>3 若い世代・子育て世代に選ばれるまちづくりについて</p> <p>(1) 本市の人口動態及び生産年齢人口減少に対する認識について</p> <p>(2) 若い世代・子育て世代に選ばれるまちづくりとしての取組について</p>
4	中山ゆうすけ (一問一答式)	<p>1 市民の声は市政に届いているか</p> <p>(1) パブリック・コメントの在り方を問う</p> <p>2 手塚治虫生誕100周年に伴うマンガ・アニメの聖地化構想について</p> <p>(1) 具体的な構想は</p> <p>(2) 他自治体との連携は</p> <p>(3) 偉人教育について</p> <p>3 生徒が自分たちの学校生活を主体的に考える取組について</p> <p>(1) 進捗は</p> <p>(2) 先行事例の研究は</p> <p>4 教育現場での生成AI活用について</p> <p>(1) SNS・生成AIのリテラシー教育について</p> <p>(2) 教職員の働き方改革への活用は</p> <p>(3) 特別支援教育への活用は</p> <p>(4) 個別最適な学びに向けた活用は</p>
5	北野 聡子 (一問一答式)	<p>1 都市計画道路荒地西山線整備事業について</p> <p>(1) 工事の長期化から近隣住民の不安の声も聞かれるが、順調に進んでいるのか</p> <p>(2) 小林工区の本線開通後の、小林地域での3本の生活道路との交差点の安全対策について</p> <p>(3) 小林工区の本線開通後の、千種地域の暫定区間道路の騒音対策や交通安全対策は</p> <p>(4) この区間の工事が終了しても、引き続き宝塚ゴルフ倶楽部場内から逆瀬川と白瀬川分岐点を抜けるルートの子種工区工事が残っており、全面的な開通が待たれるところであるが見通しはどうか</p>

		<p>2 阪急小林駅周辺環境整備について</p> <p>(1) 小林駅前公園は1968年（昭和43年）に都市計画決定がなされ現在に至る。計画決定から50年以上経過しているが、本年3月に都市計画公園の見直しの考え方について地域住民に示されたことに対する見解を問う</p> <p>(2) 小林駅の利用者に対する小林駅周辺のバリアフリー化の施策を進めることが必要ではないのか</p> <p>3 視覚障がい者の福祉サービスについて</p> <p>(1) 視覚障がい者の同行援護を含む福祉サービスの実態から課題の改善はできないか</p> <p>(2) 高齢化の中で視覚障がいだけでなく聴覚との重複障がいとなった人が増えてきている現状を認識しているか</p> <p>(3) 新しい福祉の拠点に当事者たちは大きな期待を寄せている。障がい者の交流やスポーツの機会確保を進めていくことができるのか</p> <p>4 学校現場でのICT機器利活用について</p> <p>(1) 授業を行う会計年度任用職員に校務用タブレットが配付されない状況の改善を図れないか</p> <p>(2) 学校でのWi-Fi環境のさらなる整備を進められないか</p> <p>(3) 更新された児童生徒用タブレットの利活用状況と、支援体制の強化など運用面のサポートは十分か</p> <p>(4) 児童生徒のSNS利用等に関する情報モラル教育は進んでいるか</p> <p>(5) 児童生徒及び教職員の「生成AIの利用等に関する情報モラル教育」や「ガイドライン」作成も必要ではないか</p>
6	<p>中野 正 (一問一答式)</p>	<p>1 男性職員の育児休業取得について</p> <p>(1) 男性職員の育児休業取得の問題点は</p> <p>(2) 人員不足による取得しにくさについての対応は</p> <p>(3) 自治体特有の非常時部門での問題点は</p> <p>(4) 消防本部における男性の育児休業制度の対応は</p> <p>2 体育館の空調設備に対するランニングコストの考え方や受益者負担の在り方について</p> <p>(1) 体育館の空調設備のランニングコストと受益者負担の現在の考え方は</p> <p>(2) 受益者負担の算出根拠について</p> <p>(3) 部活動の地域展開に係る減免の考え方について</p>
7	<p>村松 あんな (一問一答式)</p>	<p>1 放課後児童クラブの今後の在り方について</p> <p>(1) 運営の在り方について具体的なビジョンは</p>

		<p>2 本市における平和教育での政治的中立性の担保について</p> <p>(1) 修学旅行における平和教育の内容は、どのような過程で企画しているか</p> <p>(2) 平和教育の内容について、児童生徒や保護者に対してどのように透明性を担保しているか</p> <p>3 組織力を高めるための人事評価について</p> <p>(1) 休職理由に職場の人間関係やハラスメントを起因としたものがあるか</p> <p>(2) 異動希望理由に職場の人間関係やハラスメントを起因としたものがあるか</p> <p>(3) 部下を潰す管理職が評価されづらくなる仕組みは構築されているか</p> <p>(4) 管理職の評価基準に部下育成やコミュニケーションなど組織全体のマネジメント能力について明確に位置づけられているか</p>
9	梶川 みさお (一問一答式)	<p>1 宝塚市公契約条例の制定に向けて</p> <p>(1) 公契約条例の目的について</p> <p>(2) これまでの経過と現状、今後の進め方について</p> <p>(3) 宝塚市公契約条例検討委員会第10回会議の協議内容とその結果について</p> <p>(4) 特定契約と労働報酬下限額の決定方法について</p> <p>2 会計年度任用職員の処遇改善と人員確保について</p> <p>(1) 会計年度任用職員制度の問題点について</p> <p>ア 非正規職員の処遇改善になっていないことの認識について</p> <p>イ 日額職員の雇用中断を残している合理的な理由について</p> <p>(2) 宝塚市の会計年度任用職員の賃金等について</p> <p>ア 阪神各市との比較について</p> <p>イ 関係法令等との整合性について</p> <p>(3) 会計年度任用職員の人員確保について</p> <p>ア 地域児童育成会の支援員等の欠員の原因と解決策について</p> <p>イ 処遇改善の必要性について</p> <p>(4) 雇用形態の見直しについて</p> <p>ア 正規職員化、フルタイム化への移行について</p> <p>イ 短時間勤務職員制度の導入に向けての検討について</p>
10	坂本 篤史 (一問一答式)	<p>1 地域共生社会の実現へ</p> <p>(1) 高次脳機能障がい者支援について</p> <p>ア 高次脳機能障害者支援法施行後の市の取組状況は</p> <p>イ 市内の高次脳機能障がい者数の把握は</p> <p>ウ 高次脳機能障がいについての周知、理解は</p> <p>エ 失語症などの症状への支援の現状は</p> <p>2 高齢者の就労機会について</p>

		<p>(1) 健康・生きがい就労トライアル事業について</p> <p>ア 事業の実施状況は</p> <p>イ 事業の課題は</p> <p>3 予防医療の充実について</p> <p>(1) 高齢者への肺炎球菌予防接種について</p> <p>ア 肺炎球菌ワクチンの変更について</p> <p>イ ワクチンの接種状況は</p> <p>ウ 肺炎での死亡者数は</p> <p>4 職員の働き方改革について</p> <p>(1) 開庁時間の短縮について</p> <p>ア 職員の受け止めは</p> <p>イ 市民の反応は</p>
1 1	桑原 健三郎 (一問一答式)	<p>1 宝塚市新病院整備基本計画【基本部分】(案)と持続可能で市民に真に喜ばれる病院づくりについて</p> <p>(1) 整備規模・整備手法の妥当性と将来の財政リスクについて</p> <p>ア 1床当たり面積の過大性と全室個室化がもたらすランニングコスト増について</p> <p>イ 未計上費用(物価上昇・金利・解体費)と設計施工分離方式による入札不調リスクについて</p> <p>(2) 強気な収支計画の実現性と持続可能な病院経営について</p> <p>ア 病床稼働率93%等の実現根拠と、令和23年度までの資金不足への対応策について</p> <p>イ 全室個室化に伴う差額ベッド代の徴収方針と公立病院としての役割について</p> <p>(3) 「たからづかモデル」による施設統合と既存施設の利活用リスクについて</p> <p>ア 健康センターの仮設移転費用と、回復期病院等の誘致不調時のバックアッププランについて</p> <p>2 本市の持続可能な子ども・子育て施策の「総合的パッケージ」構築と都市間競争力について</p> <p>(1) 大都市施策の「部分模倣」のリスクと、本市の子育て支援の全体的な競争力について</p> <p>ア 他都市(神戸市等)の施策を参考にする際の、「総合的パッケージ」としての比較・分析の認識について</p> <p>イ 強力な恩恵を伴わずに「負担を求める施策」のみを導入した場合の、将来的な人口流出・税収減(負のスパイラル)への見解について</p> <p>(2) 厳しい財政状況下における、既存資源を活用した中高生の居場所づくりについて</p>

		<p>ア 多額の予算をかけずに公共・民間スペースを活用する「まちなか自習室」等に向けた検討状況について</p> <p>イ 中高生世代への支援拡充を含め、本市独自の「子育てする魅力」を今後どう打ち出していくかについて</p> <p>3 宝塚市教育行政における事実把握の実効性と、保護者のための「直接訴求・匿名通報ルート」の構築について</p> <p>(1) 学校現場における不適切指導等の事実把握プロセスと、教育委員会のガバナンスについて</p> <p>ア 保護者から学校の対応や教職員の指導に関して苦情や通報があった際、教育委員会はどのように客観的な事実確認を行っているのか。学校への聞き取りにとどまらない、実効性のある事実把握手段は確立されているか</p> <p>(2) 統一連絡システム「すぐーる」等の既存ツール及び各種相談窓口の構造的限界について</p> <p>ア 全校導入された「すぐーる」は、学校のチェックを回避した匿名相談ツールとしては構造上機能しないと考えるが市の見解はどうか。また、既存の各種相談窓口は複雑化しており、保護者からの利用しやすさに課題はないか</p> <p>(3) 保護者が心理的安全性を保ち直接訴求できる「学校を通さない匿名通報・相談システム」の構築について</p> <p>ア 現場との認識の乖離や問題の潜在化を防ぐため、保護者が担任や学校との関係悪化を恐れずに教育委員会へ直接アクセスできる「匿名通報システム」を構築し、全家庭へ周知すべきではないか</p>
1 2	浅谷 亜紀 (一問一答式)	<p>1 子どもたちの豊かな学びのために</p> <p>(1) 今年度より始まった中学校35人学級について、目的及び教室や教員確保の現状と今後の見込み、また次年度に向けた課題対応策は練られているか</p> <p>(2) 中学1年生の転地学習における宿泊を伴わない形態について</p> <p>ア 従来の宿泊型から日帰り型に転換された学校において、宿泊型に勝るとする根拠は</p> <p>イ 「こどもまんなか応援サポーター」宣言を行っている我が市において、当事者生徒の意見を聴取の上で反映されているか</p> <p>ウ 今後の他校への影響と教育委員会の考え方は</p> <p>(3) 児童生徒、保護者に向けた学校評価アンケートについて</p> <p>ア 目的及び回収率は</p> <p>イ 設問項目は具体的な改善につながるよう設定されているか。また内容改善や決定までの校内プロセスは</p> <p>ウ 課題解決に向けたPDCAは、回答の経年変化等を基に適切に回せているか</p> <p>エ 当アンケートは、設問を工夫することで各校独自の改善のみならず宝</p>

		<p>塚市教育振興基本計画の推進に寄与するデータとして有効に活用できると考えるがどうか</p> <p>2 人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）で自分らしく生き抜くために</p> <p>(1) 人生会議の普及啓発推進について、市はどのように捉えているか</p> <p>(2) 単なる高齢者向けのパンフレット配布等にとどまらず、官民連携の上で若者世代にも積極的に人生を考えるきっかけとして具体的な取組を進めるべきではないか</p>
1 3	藤岡 和枝 (一問一答式)	<p>1 若者、女性が安心して相談、そして活躍できる仕組みづくりについて</p> <p>(1) 本市における若者、女性が相談できる体制の現状と課題について</p> <p>(2) 女性の健康における、若年期から更年期にわたるライフステージごとの特性に応じた切れ目のない相談支援体制の構築について</p> <p>2 「生命（いのち）の安全教育」の取組について</p> <p>(1) 学校現場での発達段階に応じた「生命（いのち）の安全教育」の実施状況と課題は</p> <p>(2) 実施している内容と今後の方向性は</p> <p>3 学校における諸課題について（保護者負担の軽減に係る課題について）</p> <p>(1) 中学校の制服について</p> <p>ア 本市の中学校の制服の現状について</p> <p>イ 夏季における登下校時への配慮について</p> <p>ウ 標準服や市内統一制服への変更などについての検討の進捗状況は</p> <p>(2) 修学旅行の在り方について</p> <p>ア 旅行業者の選定の現状について</p> <p>イ 行き先の決定、入札や見積り合わせなどの見直しについて現場の声を聴くとのことだったが、それらの検討状況は</p>
1 4	寺本 早苗 (一問一答式)	<p>1 たばこ対策の再構築 — 環境美化と受動喫煙防止の両立に向けて</p> <p>(1) 世界禁煙週間を踏まえた市の禁煙支援・啓発の現状と課題は</p> <p>(2) 受動喫煙防止の制度的課題</p> <p>ア 市条例で明文化を</p> <p>(3) 路上喫煙及び「ポイ捨て」対策の強化を（宝塚駅周辺、他の主要駅周辺）</p> <p>2 市立幼稚園の役割と就学前教育の将来像について</p> <p>(1) 今回の3園廃園方針は、平成27年の幼稚園教育審議会答申の内容とどのように整合するのか（特別な支援を要する園児の増加見込み、保幼小中連携における公立幼稚園の役割、幼児教育センターの研究実践の基盤など）</p>

		<p>(2) 市立幼稚園の縮小を進めるのであれば、その代替機能をどのように確保するのか（特別支援・地域の子育て拠点・教育的アプローチの継承など）</p> <p>(3) 市としての就学前教育の将来像をどのように描いているのか</p> <p>3 香害対策の取組と課題について</p> <p>(1) これまでの取組の総括と残された課題について</p> <p>(2) 職員への実効性ある啓発について</p> <p>(3) 公共施設で使用する洗剤類の無香料化について</p> <p>(4) 市独自の啓発ポスターの作成について</p> <p>4 電磁波過敏症とスマートメーター・オプトアウト問題</p> <p>(1) 市としての認識と対応方針について</p>
15	大島 千都世 (一問一答式)	<p>1 市営住宅について</p> <p>(1) 市営住宅入居者選考委員会の廃止と選考プロセスの公平性について</p> <p>ア 選考委員会を廃止した理由と背景について</p> <p>イ 入居者の選考基準における透明性と公平性の担保について</p> <p>(2) 入居ルールの遵守徹底とトラブル発生時の対応について</p> <p>ア 迷惑行為等の課題に対する適切な指導と管理体制について</p> <p>2 中学校部活動の地域展開における本市の進捗状況と課題への対応について</p> <p>(1) 大会参加の持続可能性と環境整備に向けた支援について</p> <p>ア 中学校体育連盟の組織変容に伴う本市への影響について</p> <p>イ 大会開催維持に向けた財政的支援の継続について</p> <p>ウ 指導者の確保及び学校開放等の環境整備の進捗について</p> <p>(2) 市民への周知と受皿・格差への不安解消について</p> <p>ア 地域展開に対する認知度向上に向けた広報・周知の取組について</p> <p>イ 展開後の受皿の確保と経済的理由による体験格差への対策について</p> <p>3 宝塚ハーフマラソン開催について</p> <p>(1) 持続可能な大会運営について</p> <p>ア 民間委託の拡大など持続可能な執行体制の構築やこれまでの課題への対応は</p> <p>イ 民間協賛金の確保など、市財政に過度な負担をかけない財源確保策</p>
16	泉 友紀 (一問一答式)	<p>1 持続可能な行財政経営について</p> <p>(1) 財政健全化の考え方について</p> <p>ア 財政健全化と将来のまちづくりについて</p> <p>イ 総合計画と予算編成の連動について</p> <p>(2) 現場主体の予算編成について</p> <p>ア 現在の予算構造について</p> <p>イ 枠配分予算の経緯と今後の方向性について</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ウ 政策推進のための財源確保について (3) 市民理解と対話について <ul style="list-style-type: none"> ア 財政状況と行財政改革の方向性の市民理解について イ 市民参加と対話の推進について 2 介護施設等における共同送迎の可能性について <ul style="list-style-type: none"> (1) 高齢化及び介護人材不足への対応について (2) 介護施設等における送迎業務の現状と課題について (3) 介護施設等による共同送迎の取組について (4) 民間事業者との連携による実証実験の可能性について
17	伊庭 聡 (一問一答式)	<ul style="list-style-type: none"> 1 予防接種における情報提供と健康被害への支援体制について <ul style="list-style-type: none"> (1) 各種予防接種について、対象者への周知、情報提供、相談対応、副反応の現状について (2) 接種率の向上だけを目的とするのではなく、市民が効果とリスクの両面を理解し、納得して判断できる「インフォームド・チョイス」の観点を、予防接種行政の中でどのように位置づけているのか 2 私立保育園への支援と保育の質の確保 <ul style="list-style-type: none"> (1) 本市における私立保育園の役割と、現在の課題認識について (2) 私立保育園における保育士確保、定着支援、処遇改善に関する本市の取組について (3) 物価高騰、人件費上昇、給食費、施設維持費など、運営コスト増加に対する市の認識について 3 手塚治虫生誕100周年に向けたまちづくりについて <ul style="list-style-type: none"> (1) 手塚治虫生誕100周年に向けた、本市の基本方針と現在の進捗状況について 4 市内にお金が落ち、循環する商工業振興について <ul style="list-style-type: none"> (1) 商工業振興において、市内にお金を落とし、市内で循環させるという視点をどのように位置づけているのか (2) 市内事業者の売上向上、地域内取引の促進、市内消費の拡大に向けて、現在どのような施策を行っているのか (3) 行政が実施するイベント、観光施策、地域振興施策、委託事業等において、市内事業者の参画や受注機会を増やすための工夫はあるのか 5 医療費等助成制度の現状と、持続可能な健康支援の在り方について <ul style="list-style-type: none"> (1) 医療費等助成制度について (2) 市の一般財源を含めた財政負担の推移と、今後の見通しについて (3) 市単独で実施している医療費等助成制度の中で、財政負担が大きいもの、また今後負担増が見込まれるものについて、市はどのように認識して

		いるのか
18	三宅 浩二 (一問一答式)	<p>1 これからのまちづくりについて</p> <p>(1) 開発許可と交通安全対策について</p> <p>ア 開発申請時に交通安全について庁内検討はされているか</p> <p>イ 警察との協議はされているか</p> <p>(2) 宝塚市立地適正化計画について</p> <p>ア 現在の進捗状況</p> <p>イ 計画実現への課題</p> <p>ウ 今後の取組</p> <p>2 リチウムイオン電池の回収について</p> <p>(1) 本市の回収について</p> <p>ア 具体的な回収方法</p> <p>イ 市民への周知</p> <p>(2) 近隣市の回収状況</p>
19	おだ たか子 (一問一答式)	<p>1 公共交通 実証実験の検証結果について</p> <p>(1) 検証結果の公表及び地域への説明、交通事業者への協力依頼について</p> <p>2 小・中学校部活動の遠征交通手段について</p> <p>(1) 部活動遠征の交通手段の現状について</p> <p>(2) 小・中学校での遠征交通手段のルール化の予定は</p> <p>3 市立温泉利用施設 「ナチュラルスパ宝塚」の営繕について</p> <p>(1) 本年6月末で一旦休館するナチュラルスパ宝塚の温浴施設としての機能を残すために、温泉給排水配管のメンテナンスはどうするのか</p> <p>4 消防訓練 民間高齢者施設の協力による実地訓練について</p> <p>(1) 本年2月の訓練実績と市民への参加呼びかけ等広報周知は行ったか</p> <p>(2) 解体建物への協力要請などは</p>
20	川口 じゅん (一問一答式)	<p>1 市民の関心を成果へ、協働を課題解決につなぐ行政の役割について</p> <p>(1) 宝塚市きずなづくり推進事業補助金について</p> <p>ア 制度開始から今年度までの申請団体数の推移は</p> <p>(2) たからづか手塚治虫生誕100周年事業について</p> <p>ア 関わっている団体や個人の数は</p> <p>イ 現在の具体的な取組は</p>
21	大島 淡紅子 (一問一答式)	<p>1 大阪国際空港及び神戸空港が特定利用空港・港湾となった場合の弊害は</p> <p>(1) 大阪国際空港周辺都市対策協議会の構成市である宝塚市への県からの</p>

		<p>説明は</p> <p>ア 説明を求めるべきと考えるが</p> <p>イ 「有事の利用を対象としない」と政府は言っているが、本当に市も想定していないのか</p> <p>ウ 市民の安全安心を脅かさないよう、10市協を通じて、新関西国際空港株式会社と政府に特定利用空港化を受け入れないよう求めないのか</p> <p>2 部活動の地域展開の進捗状況は</p> <p>(1) 地域クラブについて</p> <p>ア 地域クラブ活動支援補助金及び参加支援金の目的と具体は</p> <p>イ 移動の支援についての考えは</p> <p>ウ 「ZUKA ッチャフェスタ」(地域クラブ合同説明・体験会)の検証は</p> <p>エ 今回の部活動地域展開で、市は子どもたちが地域社会とどのように関わり、何を得ることを期待しているのか</p> <p>3 宝塚市立小学校及び幼稚園の適正規模や適正配置は今後どうするのか</p> <p>(1) 光明・未成地域の教育環境適正化に関して、これまでの経緯と今後の予定は</p> <p>(2) 市立幼稚園の適正規模及び適正配置に関する基本方針は変更はないのか</p>
22	田中 こう (一問一答式)	<p>1 市民の「いのちとくらし」を守るために</p> <p>(1) 国民健康保険法第1条が掲げる社会保障及び国民保健の向上と、健全な事業運営の確立について</p> <p>ア 兵庫県による国民健康保険料の完全統一化に伴い、今後の具体的なスケジュールを市民へどのように分かりやすく示していくのか</p> <p>イ 市民の急激な国民健康保険料負担を抑えるために、これまでに蓄積した基金をどのように有効活用していくのか</p> <p>ウ 保険税の滞納に伴う保険証の取上げは直ちにやめ、全ての加入者がいつでも安心して医療を受けられる環境を保障すべきではないか</p> <p>(2) 障がい者(児)の福祉向上と社会参画への支援について</p> <p>ア 障害者(児)医療費助成における身体障害者手帳4級の助成廃止に伴う影響をどのように捉え、市民の健康を守るための必要な支援へどうつなげていくのか</p> <p>イ コロナ後遺症に苦しむ市民への相談窓口の現状は。障害認定の厳しい基準に対する本市の認識と役割は</p> <p>ウ 障がい者スポーツの大切さを市はどう考え、障がいのある市民が安心してスポーツを楽しめる環境をどのように整備していくのか</p> <p>(3) 外国籍住民の権利擁護と地域経済の持続可能性について</p> <p>ア 永住許可の取消し要件拡大、在留手数料大幅引上げに伴う懸念に対し、自治体として独自の配慮や支援策に取り組むべきではないか</p> <p>イ 「経営・管理」ビザの資本金要件引上げによる市内外国人事業者への深刻な影響をどのように把握し、帰国危機などを防ぐための事業継続に</p>

		<p>向けた支援策にどう取り組んでいくのか</p> <p>ウ 深刻な労働力不足に直面する市内産業において、外国籍の労働者を地域経済の新たな担い手として適切に迎え入れ、安心して定着できる就労・生活環境を市が主導して整備すべきではないか</p>
23	北山 照昭 (一問一答式)	<p>1 年末の風物詩である市最大のイベント「宝塚ハーフマラソン」の開催について</p> <p>(1) 具体的な実施内容について</p> <p>(2) 参加者増への対策とランナーへの配慮について</p> <p>(3) 宝塚の魅力発信について</p> <p>2 宝塚自然の家（大原野字松尾）の運営について</p> <p>(1) 指定管理者「宝塚にしたに里山ラボ」の来園者増に対する取組について</p> <p>(2) 来園者増の意義と増加に伴い見えてきた課題について</p> <p>(3) 自然志向と「宝塚自然の家」魅力の有効活用について</p> <p>(4) 雨天時の対応策として、旧食堂などの活用について</p> <p>3 上水道事業における「低水圧地域」について</p> <p>(1) 「低水圧地域」とは、「水道局から供給される水の水圧が弱い地域」とのことだが、「低水圧地域」の水圧は幾らで、「適正水圧（通常）」は幾らなのか</p> <p>(2) 水道局内通路の壁に「低水圧地域」の地図が貼られていたが、地図の基になっている低水圧地域の根拠と低水圧の数値基準について</p> <p>(3) 「低水圧」を起因とする水道供給に対する苦情及び地域からの要望について</p> <p>(4) 売布3丁目、売布4丁目、中山荘園、中山寺3丁目、中山寺2丁目、中筋山手1丁目、中筋山手3丁目、中筋山手4丁目、中筋1丁目、中筋2丁目の一部地域が「低水圧地域」になっているが、原因は何なのか</p> <p>4 高齢者に寄り添うやさしいまちづくりについて「市民の声より」</p> <p>(1) エンディングプラン・サポート事業の構築を</p> <p>ア 無縁遺骨保管数の推移について</p> <p>イ 高齢独居世帯数の推移について</p> <p>ウ ひとり暮らしや頼れる身寄りがいない方などに対する終活支援について</p> <p>エ 神戸市、高砂市などで進められているエンディングプラン・サポート事業（生前の葬儀・納骨手続きの支援）について</p>